

STAR

マルチはぎ機

取扱説明書

製品コード
型

式

K37010

FDR-101N-HK

“必読”機械の使用前には必ず読んでください。

株式会社IHIアグリテック

はじめに

このたびは、マルチはぎ機をお求めいただきありがとうございました。

この取扱説明書は、正しい取り扱い方と日常の点検、整備について記載してあります。

この取扱説明書およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになって、充分ご活用いただき、いつまでもご愛用ください。

- ・お読みになった後はいつでも取り出せるように保管し、わからないことがあったときにお読みください。
- ・マルチはぎ機を貸与または譲渡される場合には、取扱説明書も添付してお渡してください。
- ・取扱説明書を紛失された場合は、お買上げの販売店にご注文ください。

- ・下記のマークのついた項目は、安全上、特に重要な項目ですので、必ず守ってください。



- ―― この項目を守らなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



- ―― この項目を守らなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



- ―― この項目を守らなかった場合、けがを負うおそれがあるものを示します。

- [取扱いの注意]
- ―― 操作上特に注意すべきことや、本機固有の事項ならびに、守らないと本機の性能、寿命に影響をおよぼす事項を示します。

- ・なお、品質、性能向上のため、部品の変更を行う場合があります。その際、本書の内容と一部異なる場合がありますのでご了承ください。

目 次

■ 安全に作業するために	2
■ サービスについて	9
■ 本製品の使用目的について	9
■ 主要諸元	10
■ 安全銘板の張り付け位置	10
■ 各部の名称と外観図	11
■ 付属部品	11
■ 開梱のしかた	12
1. 梱包枠の取り外し	12
2. 部品の取付け、調整	12
■ 使用前に	13
1. 適応トラクタ	13
2. トラクタ前後バランス	13
3. ユニバーサルジョイントの取付け	13
■ 使用方法	15
1. 使用に当たって	15
2. 作業前の点検	15
3. トラクタへの取付	15
4. マルチはぎ取り速度の調節	17
5. マルチのセット方法	18
6. マルチのはぎ取り作業	19
7. 覆土の破碎	21
8. マルチの回収	22
■ 格納	23
1. 格納要領	23
2. トラクタからの取り外し	23
■ 点検と整備	24
1. 作業前の点検	24
2. ボルト、ナットのゆるみ	24
3. スクレッパの調整	25
4. Vベルト、チェーンの損傷、磨耗	25
5. 給油脂	26
6. 点検整備基準	26
■ 故障と対策	27

■安全に作業するために

ここに記載されている注意事項を守らないと死亡を含む傷害事故や、機械の破損を生じるおそれがあります。

●全般の注意事項

警告 こんな時は運転しない

過労，病気，薬物の影響，その他の理由により
作業に集中できないとき。

酒を飲んだとき。

妊娠しているとき。18才未満のひと。

★守らないと

思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

警告 作業に適した服装をする

すべりやすいはきもの、だぶついた服装、
腰てぬぐい等は禁止です。

ヘルメット、滑り止めのついた靴等、作業に
適した服装をしてください。

★守らないと

機械に巻き込まれたり、転倒してけがをするおそれがあります。

警告 機械を貸す時は取り扱いを説明する

取扱い方法をよく説明し、作業前に
「取扱説明書」を必ず読むように
指導してください。

★守らないと

死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねくおそれがあります。

警告 マルチはぎ機に人を乗せない

マルチはぎ機に人を乗せないでください。

★守らないと

転落事故等思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

警告 使用目的以外の作業に使用しない

マルチのはぎ取り、回収以外の作業に
使用しないでください

★守らないと

事故、けが、機械の故障をまねくおそれがあります。

警告 機械の改造禁止

指定以外のアタッチメントを取り
付けないでください。
分解や改造をしないでください。

★守らないと

事故、けが、機械の故障をまねくおそれがあります。

注意 日常点検をする

日常点検を行って下さい。
定期点検を受けてください。

★守らないと

整備不良による事故、けが、機械の故障をまねくおそれがあります。

注意 公道走行禁止

マルチはぎ機をトラクタへ装着して公道の走行はできません。
トラクタの条件によってはそのまま公道走行できる場合があります。
詳細は一般社団法人日本農業機械工業会のホームページで確認してください。

<http://www.jfmma.or.jp/kouido.html>

★守らないと

道路交通法違反です、事故を引き起こすおそれがあります。

●作業前後の注意事項

危険 ユニバーサルジョイント 着脱時はエンジン停止

ユニバーサルジョイントを取り付けるとき
および取り外すときは、必ずトラクタの
エンジンを停止してください。

★守らないと

巻き込まれたりして死亡あるいは傷害事故を引き起こすおそれがあります。

危険 PTO軸カバー、入力軸カバー、ユニバーサルジョイントカバーは確実に取り付ける

カバーは確実に取り付けてください。
破損しているカバーは修理または交換して取り付けてください。

★守らないと

巻き込まれたりして死亡あるいは傷害事故を引き起こすおそれがあります。

警告 不対応のトラクタで作業しない

13PS以上で、3点リンクカテゴリ0または1のトラクタを使用してください。

★守らないと

思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

▲警告 トラクタの前後バランスを調整する

トラクタ前輪が軽いときはトラクタに
フロントウエイトを取り付ける。

★守らないと
バランスを崩し事故を引き起こすおそれがあります。

▲警告 ユニバーサルジョイントは確実に取り付け、カバーの回り止めをする

ユニバーサルジョイントが抜けないように確実に取り付け、
カバーも鎖で回り止めをしてください。

★守らないと
巻き込まれたりして傷害事故を引き起こすおそれがあります。

▲警告 点検整備は平坦地でトラクタの駐車ブレーキをかけて行う

点検整備は、機械が動かない平坦で安全な場所で
トラクタの駐車ブレーキをかけて行ってください。

★守らないと
機械が動いて傷害事故を引き起こすおそれがあります。

▲警告 点検整備中はトラクタのエンジン停止

点検、整備、修理、あるいは清掃するときは必ず
トラクタのエンジンを停止してください。

★守らないと
巻き込まれ等傷害事故を引き起こすおそれがあります。

警告 取り外したカバー類は必ず取り付ける

点検、整備等で取り外したカバー類は必ず取り付けてください。

★守らないと
機械に巻き込まれるおそれがあります。

警告 トラクタとの着脱は平坦地で行う

トラクタとの着脱は平坦な安定した場所で行ってください。

★守らないと
機械が動いて傷害事故を引き起こすおそれがあります。

注意 作業前点検を行う

作業前に機械を点検してください。

★守らないと
事故を引き起こしたり、機械を損傷するおそれがあります。

●作業時の注意事項

危険 回転中のユニバーサルジョイントには近づかない

回転中のユニバーサルジョイントには絶対に近づかないでください。

★守らないと
巻き込まれ、死亡事故を引き起こすおそれがあります。

危険 ローラ回転中は手を入れない

ローラが回転しているときは、機械の中に手を入れないでください。
マルチをセットするときは、P T Oを中立にしてください。

★守らないと

ローラに巻き込まれて、けがをするおそれがあります。

警告 エンジンを始動するときはP T Oを中立にする

トラクタのエンジンを始動するときは
P T Oを中立にしてください。

★守らないと

急にローラが回転し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

警告 周囲の安全を確認してから発進する

機械の周囲に人がいないか確認してから発進してください。
共同作業のときは、声を掛け合ってください。

★守らないと

傷害事故を引き起こすおそれがあります。

警告 高速での急旋回禁止

旋回するときは、スピードを落とし
ゆっくり行ってください。

★守らないと

急にローラが回転し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

警告 安全速度で走行する

無理のない安全な速度で走行,作業してください。

★守らないと

転落事故を引き起こすおそれがあります。

警告 機械から離れるときはエンジン停止

機械から離れるときは、トラクタの駐車ブレーキを掛け
エンジンを停止してください。

★守らないと

思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

警告 傾斜地では旋回や等高線に沿った走行をしない

旋回はなるべく平坦な場所で行ってください。
また、斜面を横切る等高線走行はしないでください。

★守らないと

転倒事故を引き起こすおそれがあります。

警告 傾斜地での変速、だ性走行をしない

傾斜地を走行するときは、あらかじめ適正な変速段に入れ、
下り坂ではエンジンプレーキを使用してください。

★守らないと

暴走して傷害事故を引き起こすおそれがあります。

■サービスについて

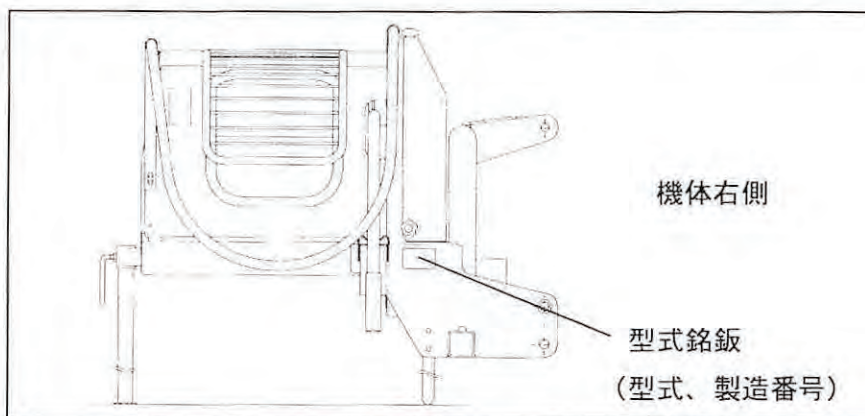
アフターサービスについて

機械の調子が悪い時は27ページの「故障と対策」に従って、点検してください。
なお不具合がある場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ・型式
- ・製造番号
- ・購入年月日
- ・オプションの有無
- ・使用状況
- ・不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく

覚 え	
型 式	FDR-101N-HK
製 造 番 号	
購 入 年 月 日	
オ プ シ ョ ン	



補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。
ただし供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

■本製品の使用目的について

本マルチはぎ機は、フィルム状のマルチをはぎ取る作業、または、はぎ取ったマルチを集める作業に使用する目的の機械です。

使用目的以外の作業に使用しないでください。

また、分解や指定以外のアタッチメントの取付け、改造をしないでください。

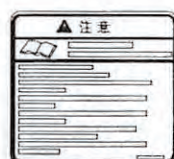
■主要諸元

名 称	マルチはぎ機
型 式	FDR-101N-HK
機体質量 kg	120
全 長 mm	1020
全 幅 mm	1000
全 高 mm	1150
適応マルチ	全面マルチ, 普通マルチ
はぎとり条数	1
適応トラクタ	15PS以上
装着方法	3点リンク〔カテゴリ0, 1〕
適正PTO回転数 min^{-1}	1000以下
作業速度 km/h	5~10
作業能 分/10a	20~30 (全面マルチ)

■安全銘鈑の貼り付け位置

安全に作業していただくための安全銘鈑の貼り付け位置を示します。

安全銘鈑はいつも汚れや破損のないようにし、もし破損した場合は新しいものを購入し張り直してください。



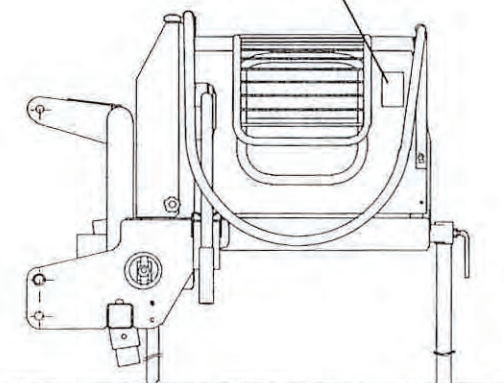
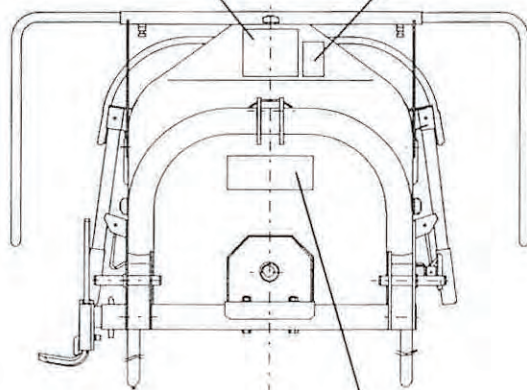
注意 安全に作業するために
31613-50860



警告 カバー開放禁止
12873-47540

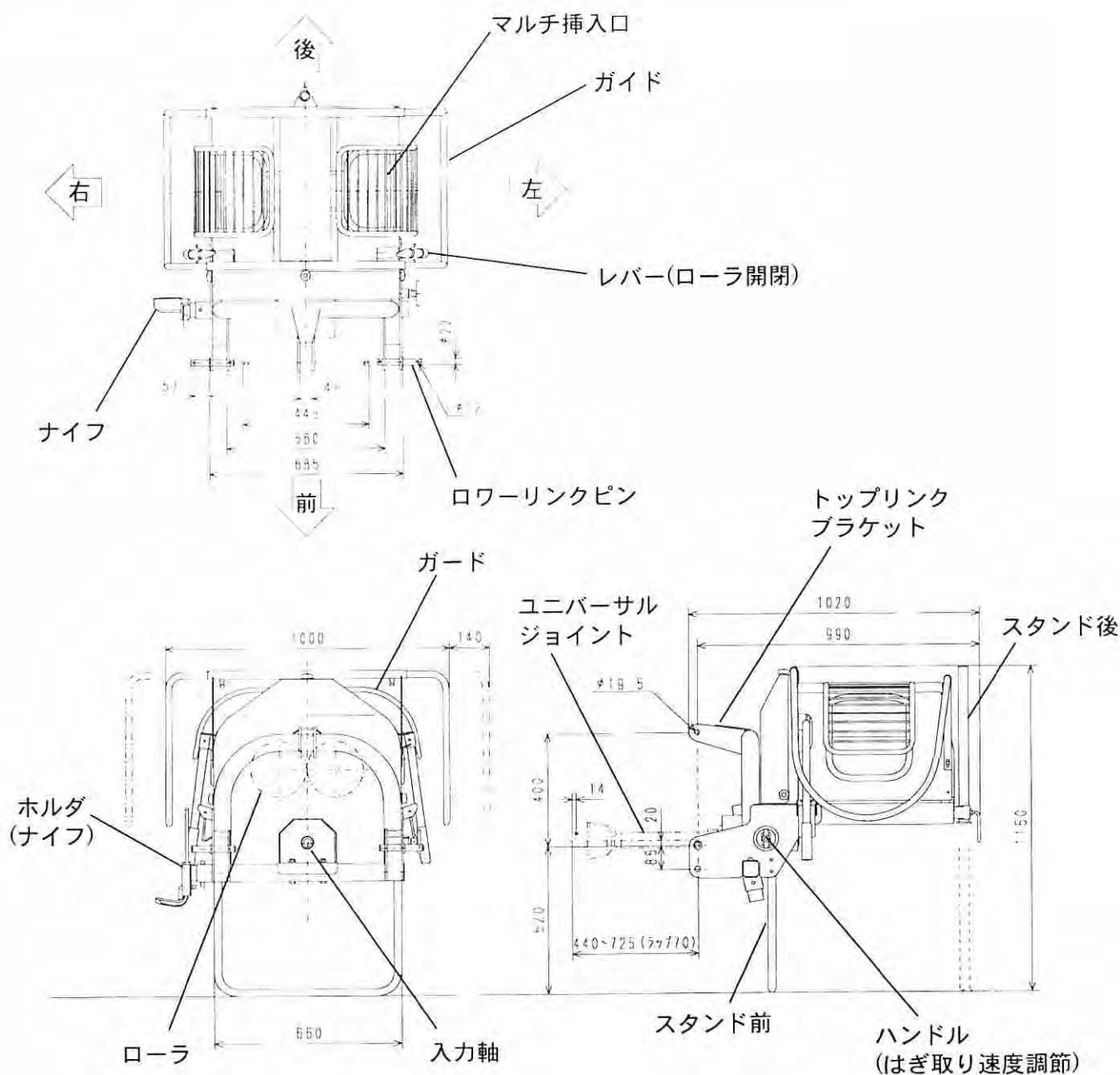


危険 ローラ巻き込まれ注意
31613-50871



危険 ユニバーサルジョイント巻き込まれ注意
10623-47710

■各部の名称と外観図



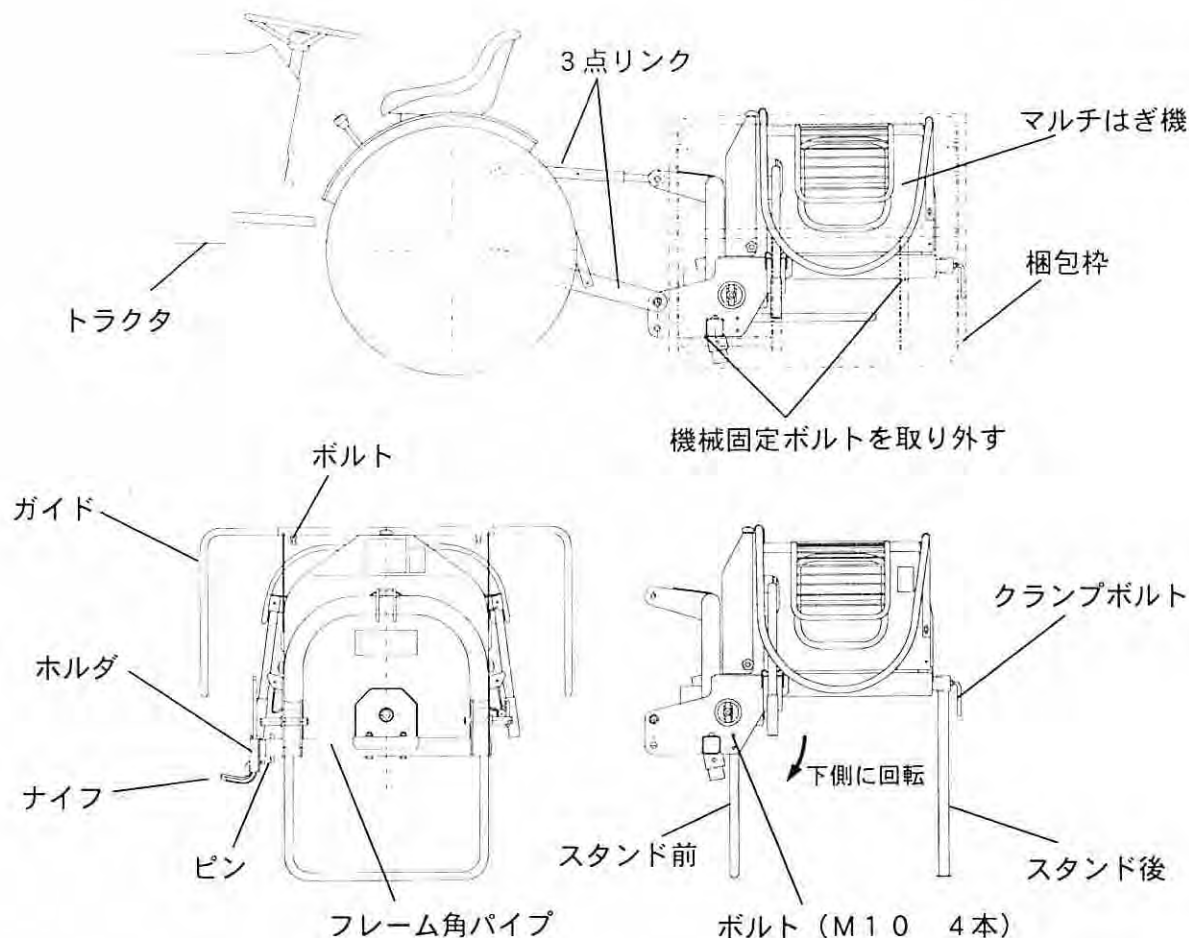
■付属部品

標準部品として次の部品が付属しています。

◎ユニバーサルジョイント (AS050-500)	1
◎ボルト (M10-70)	1
◎ロックナット (M10)	1
◎取扱説明書	1

■開梱のしかた

この機械は、通常木枠に梱包してあります。また、梱包の都合上取り外してある部品もあります。ご使用前に木枠を取り外し、部品を取付けてください。



1. 梱包枠の取り外し

- (1) 木枠は、上部および前後左右の枠を取り外します。
- (2) トラクタの3点リンクに装着します。
- (3) マルチはぎ機と枠とを固定しているボルトを取り外します。
- (4) トラクタの3点リンクをゆっくり上げ、枠を切りはなします。
- (5) スタンド前を下側に回転させボルト (M10 4本) で固定します。

2. 部品の取付け、調整

- (1) ホルダ (ナイフ付き) をフレームの角パイプに差し込みピンで固定します。
- (2) スタンド後をクランプボルトにより固定します。
- (3) ガイドを希望位置へ広げ、ボルトにより固定します。
(このガイドは、マルチに付着した土、残さを落とす役目をしますので、実際にマルチをはぎ取ってみて、最も効果の上がる位置にセットしてください。)

■使用前に

1. 適応トラクタ



警告

- ・不適応のトラクタで作業しないでください。
守らないと、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

適応トラクタ	15PS以上
--------	--------

このマルチはぎ機は、3点リンク装着型です。3点リンクを装備したトラクタを使用してください。3点リンクのカテゴリは1, 0および特0（0より狭い取り付け幅）3通りです。また、マルチはぎ取り作業は、圃場端でのUターンが多いので小型トラクタ（適応トラクタの範囲内）のほうが能率的です。

2. トラクタ前後バランス



警告

- ・トラクタ前後バランスを調整してください。
守らないと、バランスを崩し事故を引き起こすおそれがあります。

トラクタにマルチはぎ機を装着すると、トラクタの前輪を持ち上げる力が働きます。トラクタ前輪荷重がトラクタ総重量の20%以下になると、トラクタのステアリング(かじ取り)が効かなくなったり、極端な場合は後方へ転倒します。

トラクタ前輪荷重が少ないときは、トラクタにフロントウェイトを取り付けて前後バランスを調整してください。

3. ユニバーサルジョイントの取付け



危険

- ・ユニバーサルジョイントの取り付け、取り外しはトラクタのエンジンを停止してから行ってください。
- ・PTO軸カバー、入力軸カバー、ユニバーサルジョイントカバーは確実に取り付けてください。
守らないと、巻き込まれたりして死亡あるいは傷害事故を引き起こすおそれがあります。



警告

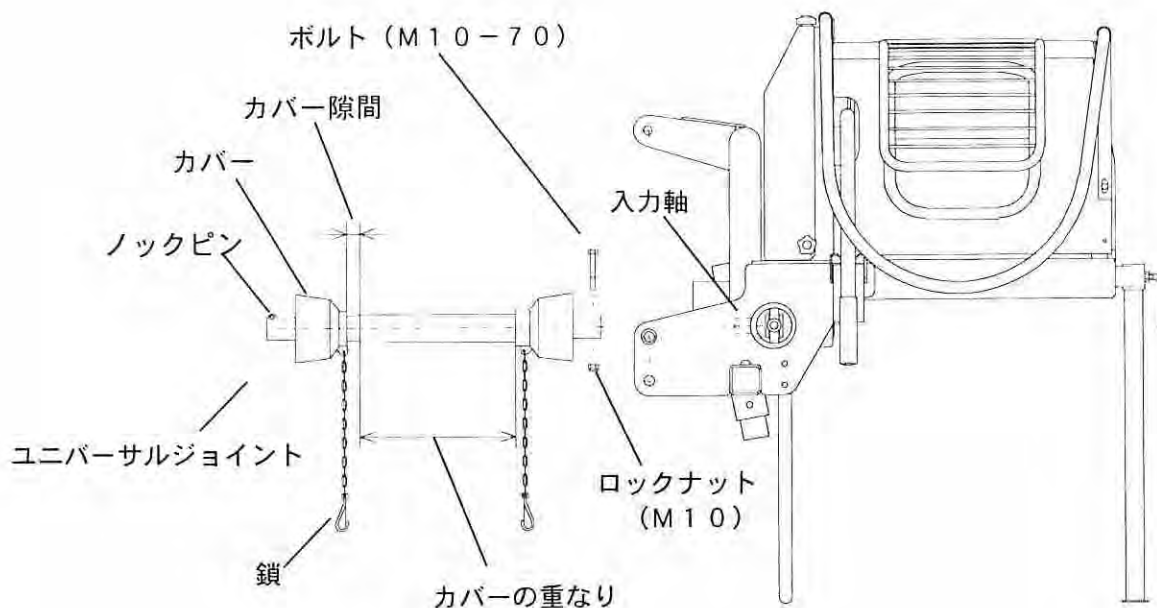
- ・ユニバーサルジョイントは鎖でカバーの回り止めをしてください。
守らないと、巻き込まれたりして傷害事故を引き起こすおそれがあります。



- ・ユニバーサルジョイントは、トラクタPTO軸およびマルチはぎ機入力軸へ確実に取り付けてください。
守らないと、ユニバーサルジョイントが抜け傷害事故を引き起こすおそれがあります。

・取り付け要領

- (1) マルチはぎ機の入力軸のキャップを外し、ユニバーサルジョイントを入力軸へ差し込みます。
- (2) ボルト (M10-70)、ロックナット (M10) によりユニバーサルジョイントを入力軸へ固定します。
- (3) トラクタPTO軸へユニバーサルジョイントを差し込みノックピンにより抜け止めをします。
- (4) ユニバーサルジョイントカバーの鎖をトラクタ、マルチはぎ機にそれぞれ取り付け、カバーの回り止めをします。



・ユニバーサルジョイント長さの確認

マルチはぎ機をトラクタへ装着し3点リンクを上げ下げすると、ユニバーサルジョイントが伸び縮みします。

このとき、ユニバーサルジョイントが抜けたり突き上げたりしないことを確認してください。

- (1) トラクタの3点リンクを上げ下げしたとき、ユニバーサルジョイントカバー隙間が最も少ないときでも2cm以上あるか確認します。長すぎるときは、長い分を切断します。
- (2) また、最も伸びたときでもカバーとカバーとの重なりが5cm以上あるか確認します。

■使用方法

1. 使用にあたって

(1) 使用者



- ・こんな時は使用しない。

過労，病気，薬物の影響，その他の理由により作業に集中できないとき。
酒を飲んだとき。妊娠しているとき。18才未満の人。

守らないと、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

(2) 服装



- ・作業に敵した服装，防護具を着用してください。

すべりやすいはきもの，だぶついた服装，腰てぬぐい等は禁止です。
ヘルメット，滑り止めのついた靴等，作業に適した服装をしてください。

守らないと、機械に巻き込まれたり，転倒してけがをするおそれがあります。

2. 作業前の点検



- ・作業前に機械を点検してください。

守らないと、事故を引き起こしたり、機械を損傷するおそれがあります。

作業の前に機械の周りを一巡して異常がないか点検してください。

点検項目，注意事項は26ページの[点検と整備]の作業前の点検をご覧ください。

3. トラクタへの取り付け



- ・ユニバーサルジョイントの取り付け，取り外しはトラクタのエンジンを停止してから行ってください。

- ・P T O軸カバー，入力軸カバー，ユニバーサルジョイントカバーは確実に取り付けてください。

守らないと、巻き込まれたりして死亡あるいは傷害事故を引き起こすおそれがあります。



- ・トラクタとの連結は平坦地で歯止めをして行ってください。

守らないと、機械が不意に動き出し傷害事故を引き起こすおそれがあります。



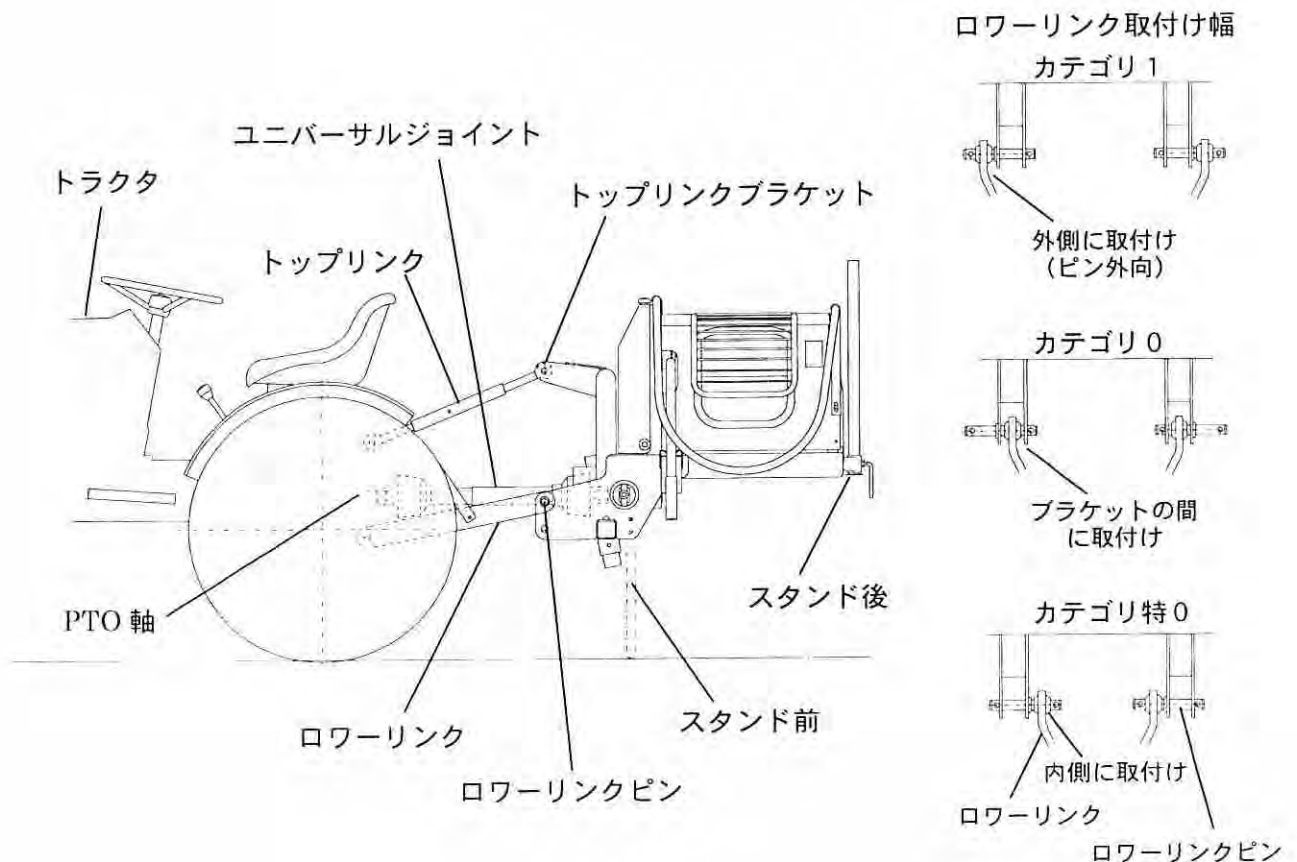
・ユニバーサルジョイントは、トラクタPTO軸およびマルチはぎ機入力軸へ確実に取り付けてください。

守らないと、ユニバーサルジョイントが抜け傷害事故を引き起こすおそれがあります。

・ユニバーサルジョイントは鎖でカバーの回り止めをしてください。

守らないと、巻き込まれたりして傷害事故を引き起こすおそれがあります。

- (1) トラクタのロワーリンクをマルチはぎ機のロワーリンクに合わせ、装着します。(ロワーリンク取り付け幅は3種類あります。[カテゴリ 1,0, 特 0]トラクタロアリンクにあった位置で取り付けて下さい。)
- (2) トップリンクをトラクタおよびマルチはぎ機のプロップリンクブラケットへ取り付けます。
- (3) ユニバーサルジョイントを取り付けます。ユニバーサルジョイントカバーの鎖をそれぞれトラクタ、マルチはぎ機に取り付け、カバーの回り止めをします。
- (4) ロワーリンクを上げスタンド前を取り外します。スタンド後はいっぱい上げてください。(地面との接触などの支障がない場合は、スタンド前をつけたままでも作業可能です)
- (5) ロワーリンク位置を調整し、ユニバーサルジョイントがほぼ水平になったときにマルチはぎ機が水平になるようにプロップリンク長さを調節します。
(作業は、ユニバーサルジョイントがほぼ水平になる高さで行います。)

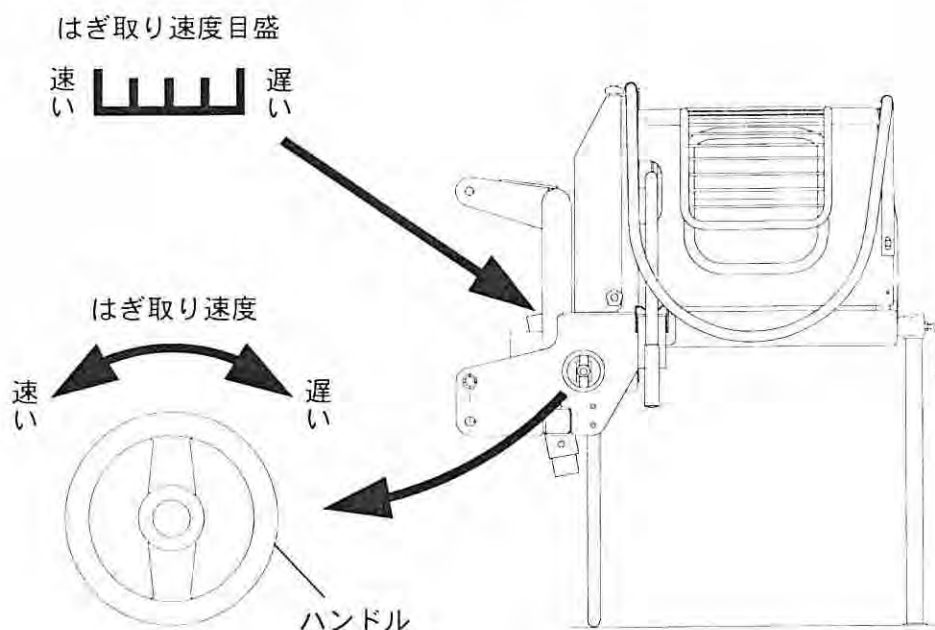


4. マルチはぎ取り速度の調節

この機械は、走行しながらマルチをはぎ取る方式なので、走行速度とはぎ取り速度とを合わせる必要があります。

このマルチはぎ機には、1～1.5の範囲ではぎ取り速度を変えられる変速機構がついていしますので、トラクタの変速段およびP T O変速段と合わせて調節してください。

はぎ取り速度は、機体左側のハンドルを回して調節します。



・ はぎ取り速度の合わせ方

(1) トラクタP T Oを一速に入れ、エンジン定格回転時車速 5 km となる変速段に入れます。

(2) 実際にマルチをはぎ取ってみて

トラクタ車速がはぎ取り速度より速い場合	トラクタ車速がはぎ取り速度より遅い場合
↓ 変速ハンドルを「速い」側に回し 速度を合わせる ↓ 変速ハンドルをいっぱい「速い」側に回しても トラクタの車速が速いときは、 トラクタ変速段を1速下げる	↓ 変速ハンドルを「遅い」側に回し 速度を合わせる ↓ 変速ハンドルをいっぱい「遅い」側に回しても トラクタの車速が遅いときは、 トラクタ変速段を1速上げる

[取扱いの注意]

- ・ 車速とはぎ取り速度との関係は、圃場条件により異なります。実際の作業で調節してください。
- ・ はぎ取り速度を車速よりわずかに速めた方がスムーズな作業ができます。
- ・ 圃場条件が良い場合は、P T Oを2速以上に入れスピードを上げて作業できます。
- ・ はぎ取り速度の調節は、無負荷のときにP T Oを回転させて行ってください。

5. マルチのセット方法

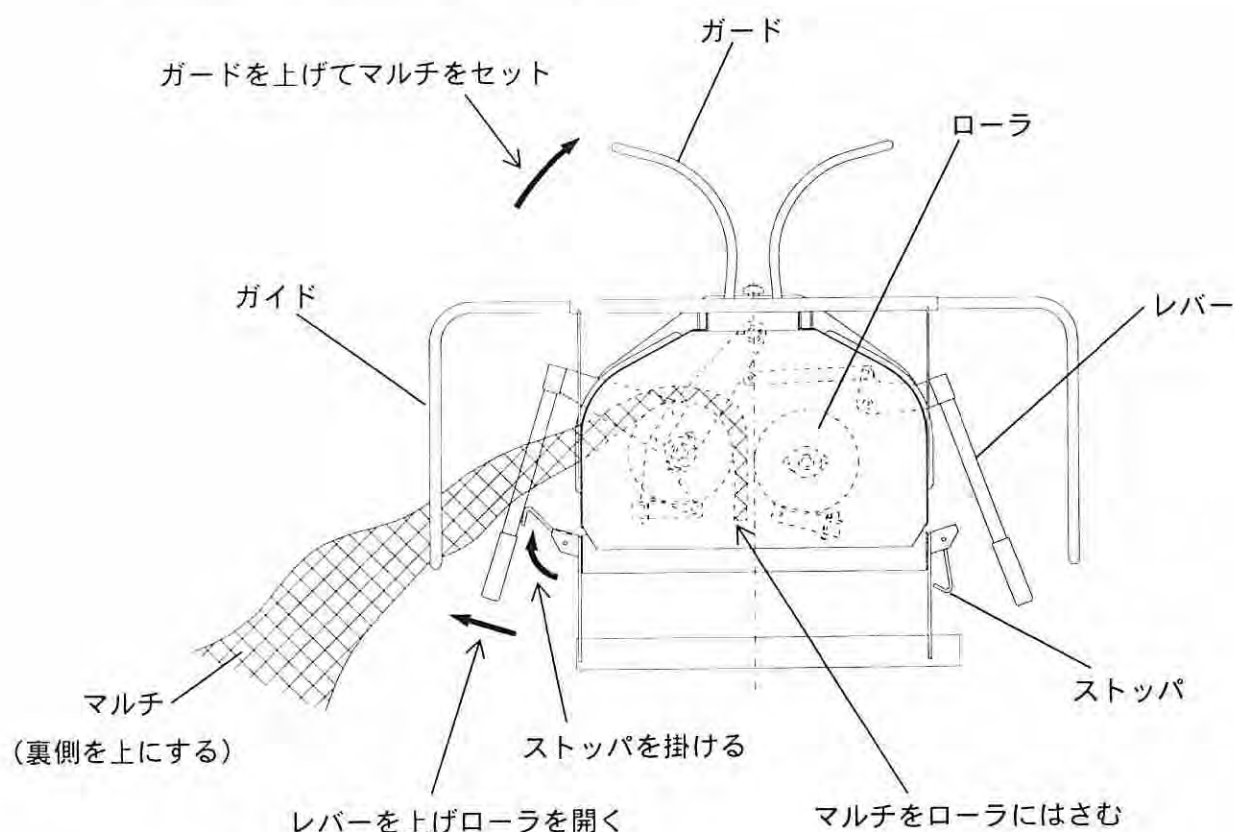


マルチを機械にセットするときは、PTOを停止してください。

守らないと、巻き込まれてけがをするおそれがあります。

この機械は、2本のローラでマルチをはさみ、ローラを回転させてマルチをはぎ取っていきます。マルチのセットの方法は、次のとおりです。

- (1) 機体左右にあるレバー（どちら側でも可）を上げ、ストッパを掛けます。
（こうしておくと、2本のローラは開いた状態になっています）
- (2) ガードを上げ、マルチをガイドの上を通しローラの間に入れます。
このときマルチの裏側を上にしていれます。
- (3) レバーを再度上げるとストッパが外れますので、レバーを下げマルチをローラではさみます。
- (4) ガードを下げると、はぎ取り作業を開始できます。



[取扱いの注意]

- ・この機械は、左右どちら側からもマルチをセットできます。
- ・ガードを上げるとローラの回転が停止するクラッチ機構がついています。マルチをはぎ取るときは、ガードを下げてください。

6. マルチのはぎ取り作業



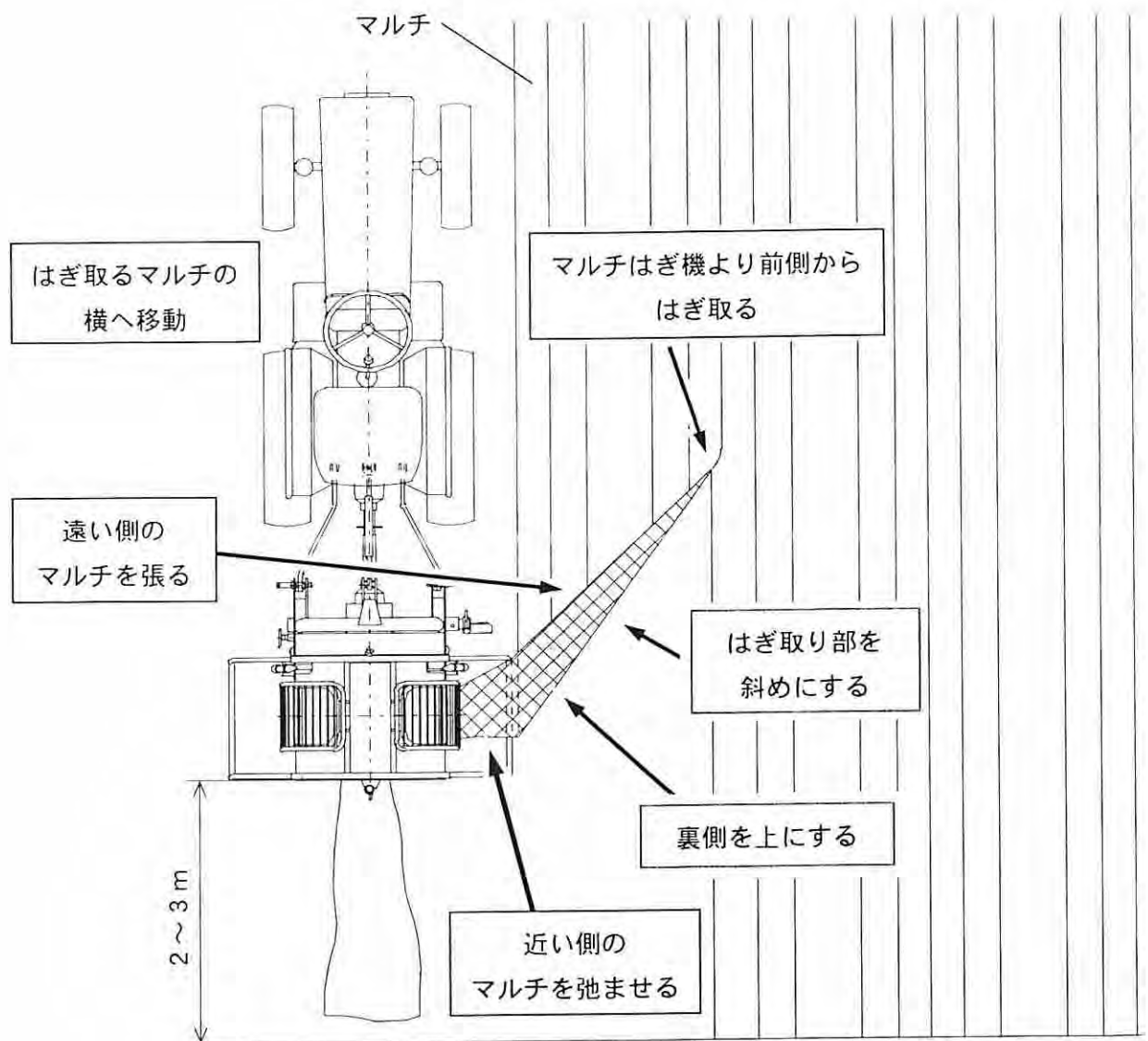
- ・回転中のユニバーサルジョイントに体を近づけないでください。
守らないと、巻き込まれて死亡事故を引き起こすおそれがあります。
- ・ローラ回転中は手を入れないでください。
守らないと、ローラに巻き込まれてけがをするおそれがあります。



- ・エンジンを始動するときはP T Oを中立にしてください。
守らないと、急にローラが回転し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- ・周囲の安全を確認してから発進してください。共同作業の場合は、声を掛け合ってください。
守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- ・圃場状態に見合った安全な速度で作業してください。
旋回するときは、スピードを落としてください。
傾斜地では、旋回や等高線に沿った走行をしないでください。
守らないと、転倒事故を引き起こすおそれがあります。

・はぎ取り要領

- (1) マルチはぎ機をはぎ取るマルチの横で、はぎ取る端から2～3 m前へ移動します。
(この機械は、マルチを横へ引っ張ってはぎ取ります)
- (2) マルチを端から3～4 mはぎ、マルチはぎ機へセットします。
(マルチの覆土をスムーズに落とすために、マルチはぎ機から遠い側のマルチを張り、近い側のマルチを弛ませてセットします)
- (3) P T Oを軽く回転させ、はぎ取り位置を真横より少し前よりにします。
(はぎ取り位置がマルチはぎ機より後ろになると、覆土がマルチの上に溜りマルチが切れてしまいます)
- (4) トラクタ変速段およびP T O変速段を希望の位置へ入れ、発進します。
- (5) 圃場の端まで進んだら走行を停止し、P T Oを回転させマルチを全てはぎ取ります。
(通り抜けできる圃場では、停止せずにはぎ取りできます)
- (6) Uターンして次の列をはぎ取ります。



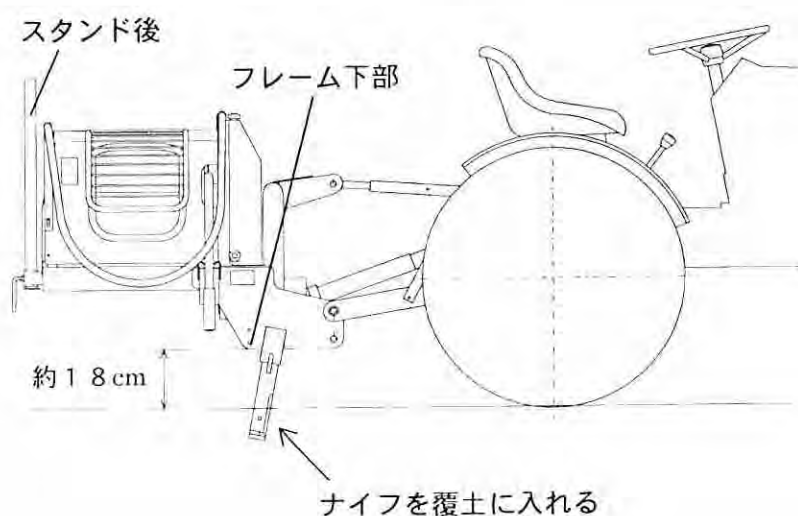
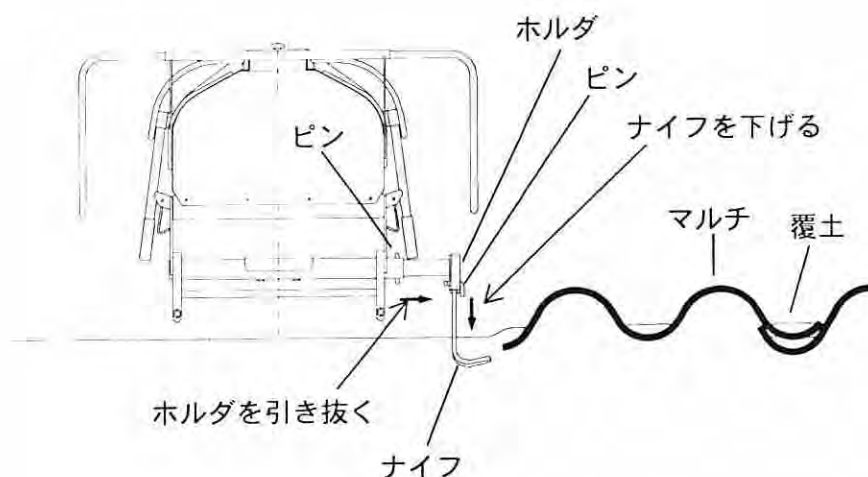
[取扱いの注意]

- ・ マルチのはぎ取りは、圃場条件により作業能率が極端に変わりますので
 - (1) 覆土の量をなるべく少なく、充分乾燥させて
 - (2) 取り残した野菜など、ローラに引っ掛かる固形物を除去すると効率の良いはぎ取り作業ができます。
- ・ 石、取り残した野菜などがローラに引っ掛かり、はぎ取りできない時は
 - (1) トラクタの走行およびP T Oを停止し
 - (2) 機体左右のレバーでローラを開き異物を取り除いてください。
- ・ 逆転P T O（逆転P T O付トラクタの場合）を使用すると、はぎ取り出来ないだけでなく機械を損傷する事がありますので、使用しないでください。
- ・ 覆土が湿っている場合、はぎ取ったままにしておくとなかなか乾燥しません。はぎ取ったマルチを広げておくと、短時間で乾燥します。

7. 覆土の破碎

マルチの覆土が固まっている場合、そのままはぎ取るとマルチが破れてしまいます。その時は、マルチはぎ機に装備してあるナイフにより、固まっている覆土を破碎してからのはぎ取ります。

- (1) ナイフをピンの抜き差しにより下げた位置に固定します。
- (2) ホルダをピンの抜き差しにより引き抜いた位置に固定します。
- (3) ナイフがマルチの端から5～10cm離れた位置になるようにトラクタを移動します。
(マルチが破れない程度離れる)
- (4) トラクタのポジションコントロールレバーを操作して、マルチはぎ機を徐々に下げながらゆっくり前進し、マルチはぎ機のフレーム下部が地面から約18cmの高さになるまでナイフを覆土に入れます。
- (5) トラクタを発進させ、覆土を破碎します。



[取扱いの注意]

- ・石の多い圃場では使用しないでください。機械を損傷します。
- ・スタンド後は、いっぱい上げて使用してください。
(はぎ取り時より低い位置で作業しますのでスタンド後が地面に接触します)
- ・作業は覆土の破碎状況を見ながらゆっくり行ってください。
- ・覆土の破碎作業をしないときには、ナイフを上げホルダを奥に入れてください。
(地面などに接触し破損するおそれがあります)

8. マルチの回収

はぎ取ったマルチを処分するとき等、マルチを集める作業にもこの機械を使用できます。



危険

- ・回転中のユニバーサルジョイントに体を近づけないでください。
守らないと、巻き込まれて死亡事故を引き起こすおそれがあります。
- ・ローラ回転中は手を入れないでください。
守らないと、ローラに巻き込まれてけがをするおそれがあります。



警告

- ・エンジンを始動するときはPTOを中立にしてください。
守らないと、急にローラが回転し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

- (1) マルチはぎ機をはぎ取ったマルチ列に直角に置き、トラクタの駐車ブレーキを掛けます。
- (2) はぎ取ったマルチの一端をマルチはぎ機にセットします。
- (3) トラクタの変速レバーを中立にして、PTOを回転します。
- (4) マルチはぎ機の下に集められたマルチは、たくさん溜まらないうちに回収用のトラックなどへ移動します。

[取扱いの注意]

- ・マルチはぎ機で集められるマルチを、機械の手前で広げながら土落としをすると移動や処分が容易になります。
- ・スクレppaにゴミなどが付着していると、マルチがローラに巻き付くことがあります。
時々点検してください。
(スクレppaはローラ下側にあります。P 25「スクレppaの調整」参照。)
- ・マルチはぎ機をはぎ取り時より上げて作業すると、マルチの溜まる余裕ができますが、ユニバーサルジョイントの角度が付き過ぎると振動が出ます。振動が出ない範囲で使用してください。

■格納



危険

- ・ユニバーサルジョイント着脱時は、エンジンを停止してください。

守らないと、巻き込まれて死亡あるいは傷害事故を引き起こすおそれがあります。



警告

- ・トラクタとの着脱は平坦地でタイヤに歯止めをして行ってください。

守らないと、機械が動いて傷害事故を引き起こすおそれがあります。

作業終了後は清掃し、各部に給油して格納してください。

1. 格納要領

- (1) 各部を水洗いしてください。
- (2) ボルト、ナット類のゆるみを点検し、必要なものは増し締めしてください。
- (3) 各部に給油してください。
- (4) 平坦な場所に保管してください。

[取扱いの注意]

- ・ローラに付着した土を落とすときは、水を掛けながらローラを回転させてください。
スクレppaで土が落ち、きれいになります。
鋭利な金属などを使用すると、ローラ（ゴム）が損傷します。
- ・なるべく屋内に格納してください。やむをえず野外に置く場合はシート等をかけ、ユニバーサルジョイントは取り外して倉庫内に保管してください。

2. トラクタからの取り外し

- (1) 3点リンクを上げて、スタンド前を取り付けます。
- (2) 3点リンクを下げてマルチはぎ機を接地します。
- (3) スタンド後ろを下げて設置させ、その位置で固定します。
- (4) ユニバーサルジョイントをトラクタPTO軸から抜き、3点リンクを外します。

■点検と整備



警告

- ・点検、整備、修理をする時は、平坦地でトラクタの駐車ブレーキをかけてください。
守らないと、不意に動いて傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- ・点検、整備、修理あるいは清掃するときは必ずトラクタのエンジンを停止してください。
- ・点検、整備等で取り外したカバー類は必ず取り付けてください。
守らないと、機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

点検、整備は、作業の安全、機械の寿命、作業能率に大きく影響しますので、定期的に行ってください。

作業前には機械の周りを一巡して、異常がないか確認してください。

1. 作業前の点検

(1) 機体の損傷

機体に損傷や異常がないか、特に溶接部に亀裂がないか点検します。

(2) ユニバーサルジョイント

- ・軸の変形はないか。
- ・十字継手部にガタはないか。
- ・安全カバーの破損はないか。
- ・回り止めの鎖が切れたり、紛失していないか。

(3) 空運転

空荷でPTOを回転させ、各部の動きに異常がないか点検してください。

2. ボルト、ナットのゆるみ

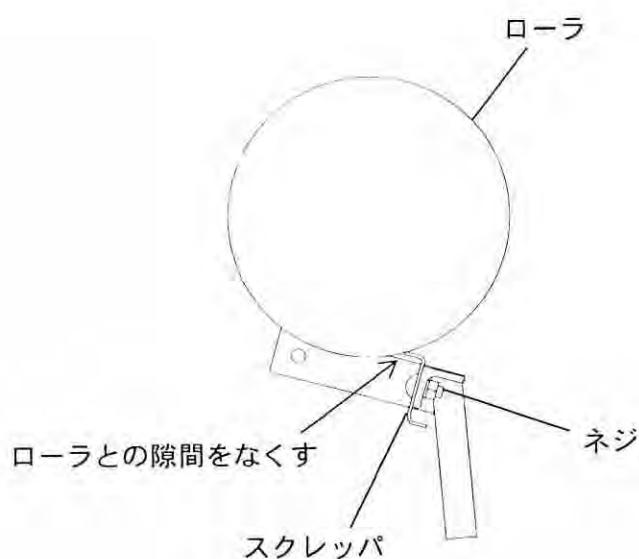
初期5～10時間使用後に全てのボルト、ナットのゆるみを点検します。

3. スクレッパの調整

この機械には、ローラに付着した土などを除去するためのスクレppaがあります。

このスクレppaとローラとの隙間ができると、マルチがローラに巻きつきやすくなります。その時は、次の要領で調整します。

- (1) ローラ部を水洗いして、ローラ及びスクレppaをきれいにします。
- (2) スクレppaを止めているネジ(4本)をゆるめます。
- (3) スクレppaを指で押し、ローラへ均等に当てます。
- (4) ネジ(4本)を締め、スクレppaを固定します。



[取扱いの注意]

- ・スクレppaをローラへ強くあてるとローラ(ゴム)の摩耗が早まります。
- ・スクレppaは、両側使用できます。摩耗したときは反対にしてください。

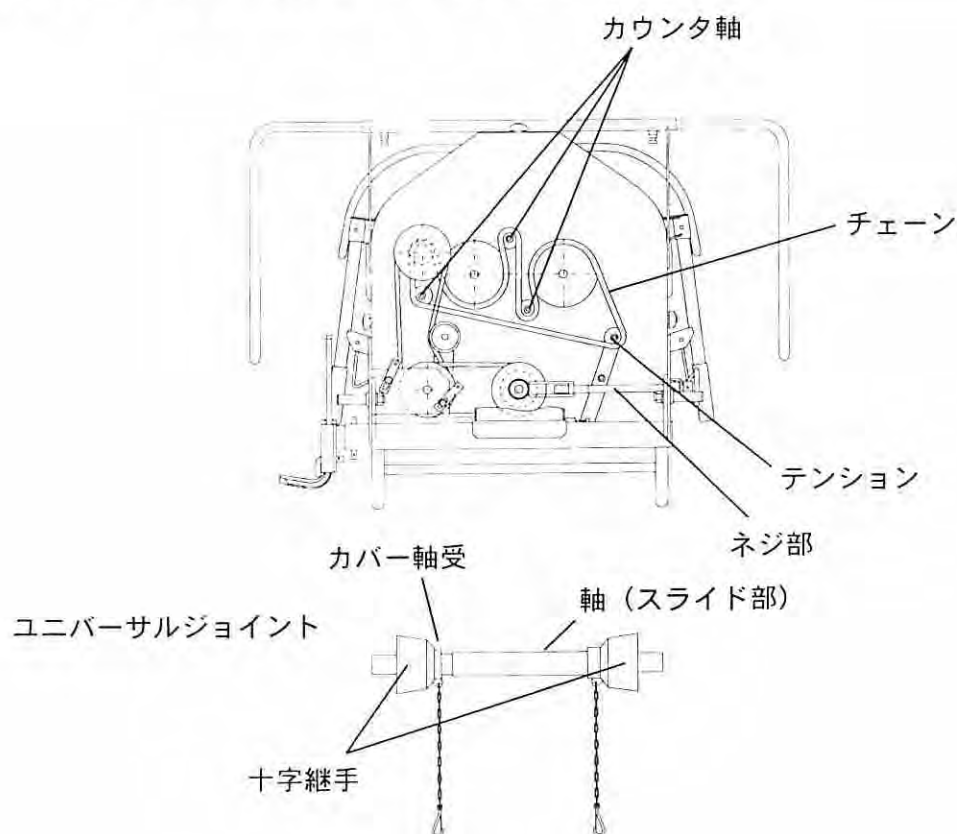
4. Vベルト、チェーンの損傷、摩耗

ローラを駆動しているVベルト、チェーンを3ヶ月毎点検し、著しく損傷、摩耗している部品は、早めに交換します。

Vベルトサイズ LB29, LB40

5. 給油脂

1年に一度次の個所へグリースアップしてください。



6. 点検整備基準

特に作業条件が悪いときは、既定の時間より早めに点検整備をしてください。

○点検 △補給 □清掃

作業内容	時期				備考
	作業前毎	作業後毎	3ヶ月毎	12ヶ月毎	
ボルト、ナットのゆるみ				○	新車時初回 5～10 時間
機体の損傷	○				
ユニバーサルジョイント	○				
各部の作動	○				
Vベルト、チェーン			○		
機体の洗浄		□			
給油脂				△	

このページをコピーして点検表として利用してください。

■故障と対策

ここには、簡単な故障の原因とその対策方法を載せてあります。

もし、機械の調子が悪い時は、この表を参考にしてください。

原因がわからない場合、対策が困難な場合は、早めにお買上げの販売店、サービス工場へご相談ください。

状況	原因	対策
マルチがはぎ取れない	異物がローラに挟まっている	異物を取り除く
	チェーンまたはVベルトが破損している	破損部品を交換する
	ローラを押さえている スプリングが破損している	スプリングを交換する
	ガードが開いていて ローラが回転しない	ガードを閉じる
マルチがローラに 巻きつく	スクレppaとローラとの 隙間がある	スクレppaの調整する
	スクレppaが偏摩耗している	スクレppaを裏返して 取付ける スクレppaを交換する

調 整

S - 2 5 0 7 0 1 A

千 歳 本 社 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1 0 6 1 番 地 2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千 歳 営 業 所 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1 0 6 1 番 地 2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

豊 富 営 業 所 098-4100 天 塩 郡 豊 富 町 字 上 サ ロ ベ ッ 1 1 9 1 番 地 4 4
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯 広 営 業 所 080-2462 帯 広 市 西 2 2 条 北 1 丁 目 1 2 番 地 4
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

中 標 津 営 業 所 086-1152 標 津 郡 中 標 津 町 北 町 2 丁 目 1 6 番 2
TEL 0153-72-2624
FAX 0153-73-2540

花 巻 営 業 所 028-3172 岩 手 県 花 巻 市 石 鳥 谷 町 北 寺 林 第 1 1 地 割 1 2 0 番 3
TEL 0198-46-1311
FAX 0198-45-5999

仙 台 営 業 所 984-0032 宮 城 県 仙 台 市 若 林 区 荒 井 5 丁 目 2 1 - 1
TEL 022-353-6039
FAX 022-353-6040

小 山 営 業 所 323-0158 栃 木 県 小 山 市 梁 2 5 1 2 - 1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

東 海 営 業 所 485-0081 愛 知 県 小 牧 市 横 内 字 立 野 6 7 8 - 1
TEL 0568-75-3561
FAX 0568-75-3563

岡 山 営 業 所 700-0973 岡 山 県 岡 山 市 北 区 下 中 野 7 0 4 - 1 0 3
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊 本 営 業 所 861-8030 熊 本 県 熊 本 市 東 区 小 山 町 1 6 3 9 - 1
TEL 096-389-6650
FAX 096-389-6710

都 城 営 業 所 885-1202 宮 崎 県 都 城 市 高 城 町 穂 満 坊 1 0 0 3 - 2
TEL 0986-53-2222
FAX 0986-53-2233